



PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **2004120569 A**

(43) Date of publication of application: **15.04.04**

(51) Int. Cl.

H04N 5/232

G03B 17/38

H04N 5/225

(21) Application number: 2002283433

(22) Date of filing: 27.09.02

(71) Applicant: **FUJI PHOTO FILM CO LTD**

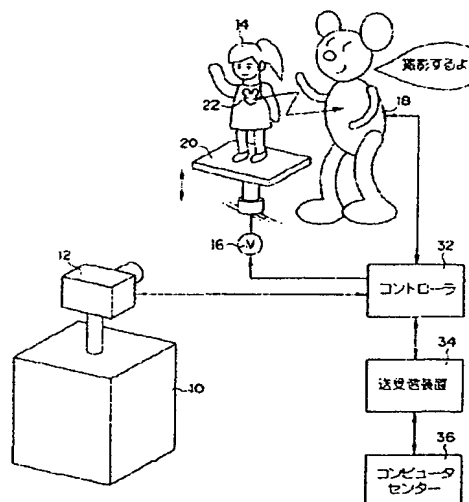
(72) Inventor: YAMAZAKI AKIHISA
ISOMURA AYUMI
OKABE TAKEO

(54) PHOTOGRAPHY SYSTEM

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a photography system that recognizes a visitor who is at a place for photography and can provide speech information regarding photography for the recognized visitor according to the presence or absence of an electronic tag.

SOLUTION: A controller 32 judges whether the human body detection sensor 24 detects the visitor 14 near a character image 18. The controller 32 judges whether the visitor 14 has the electronic tag 22 when judging the detection of the visitor 14. When it is judged that the visitor 14 has the electronic tag 22, a position for photography is adjusted, a speech output unit is driven for announcing the start of photography, and a camera 12 is operated for photographing. Additionally, when the visitor 14 does not have any electronic tags 22, it is announced that the photography cannot be made or the like.



COPYRIGHT: (C)2004,JPO

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-120569

(P2004-120569A)

(43) 公開日 平成16年4月15日(2004.4.15)

(51) Int. Cl.⁷

H04N 5/232

G03B 17/38

H04N 5/225

F I

H04N 5/232

G03B 17/38

H04N 5/225

B

B

F

テーマコード (参考)

2H020

5C022

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 11 頁)

(21) 出願番号 特願2002-283433 (P2002-283433)

(22) 出願日 平成14年9月27日(2002.9.27)

(71) 出願人 000005201

富士写真フイルム株式会社

神奈川県南足柄市中沼210番地

(74) 代理人 100079049

弁理士 中島 淳

(74) 代理人 100084995

弁理士 加藤 和詳

(74) 代理人 100085279

弁理士 西元 勝一

(74) 代理人 100099025

弁理士 福田 浩志

(72) 発明者 山▲崎▼ 彰久

埼玉県朝霞市泉水3丁目11番46号 富士写真フイルム株式会社内

最終頁に続く

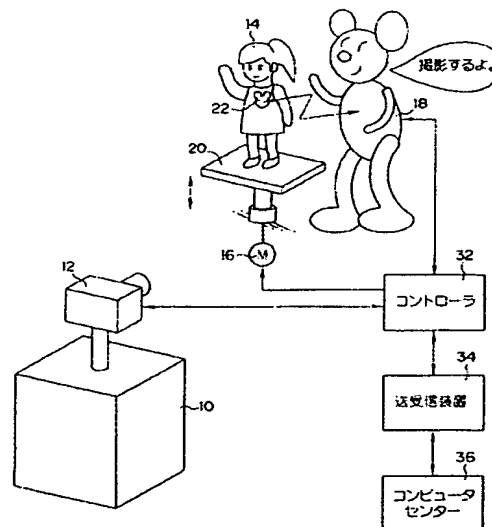
(54) 【発明の名称】 撮影システム

(57) 【要約】

【課題】 撮影場所に存在する入場者を認識し、認識した入場者に電子タグの有無に応じて撮影に関する音声情報を提供できる撮影システムを提供する。

【解決手段】 コントローラ32は、人体検知センサ24が、キャラクタ像18の近傍に入場者14を検知したか否かを判断し、入場者14を検知したと判断すると、その入場者14が電子タグ22を所持しているか否かを判断する。入場者14が電子タグ22を所持していると判断すると、撮影位置を調節した後、音声出力装置を駆動させて「写真を撮ります。」といったアナウンスを行い、カメラ12を動作させて撮影を行う。また、入場者14が電子タグ22を所持していない場合には、「撮影できません。」等のアナウンスをする。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

施設への入場者に配布され、タグ情報を送信する電子タグと、
施設内の所定の撮影場所に存在する入場者を検知する人体検知センサと、
前記電子タグから送信されるタグ情報を検知するタグセンサと、
前記撮影場所に存在する入場者に撮影に関する音声情報を提供する情報提供手段と、
前記撮影場所に存在する入場者を撮影して画像データを得る撮影手段と、
前記人体検知センサが入場者を検知した場合に、該入場者が電子タグを所持しているか否かを判断し、前記電子タグの有無に応じて撮影に関する音声情報を提供するように前記情報提供手段を制御すると共に、前記入場者が電子タグを所持している場合に撮影を行うように前記撮影手段を制御する制御手段と、
を備えた撮影システム。

【請求項 2】

前記情報提供手段は、前記撮影場所に存在する入場者が電子タグを所持している場合には撮像する旨の音声情報を提供し、前記撮影場所に存在する入場者が電子タグを所持していない場合には撮像できない旨の音声情報を提供する請求項 1 に記載の撮影システム。

【請求項 3】

前記人体検知センサ、前記タグセンサ、及び前記情報提供手段を、前記撮影場所に配置されたキャラクタ像に設けた請求項 1 又は 2 に記載の撮影システム。

【請求項 4】

前記キャラクタ像と前記入場者とが所定の画像枠内に収まるように、前記キャラクタ像及び前記入場者の少なくとも一方の撮影位置を調整する位置調整手段を更に備えた請求項 3 に記載の撮影システム。

【請求項 5】

前記位置調整手段は、前記入場者が所持する電子タグのタグ情報に基づいて撮影位置を調整する請求項 4 に記載の撮影システム。

【発明の詳細な説明】**【0001】****【発明の属する技術分野】**

本発明は、撮影システムに関し、特に、遊園地やテーマパーク等の娯楽施設に設置するの
に好適な撮影システムに関する。

【0002】**【従来の技術】**

従来、遊園地やテーマパーク内に設置されたカメラで入場者を撮影し、撮影した画像を入場者に提供するものが種々提案されている（特許文献 1 及び特許文献 2 参照）。例えば、特許文献 1 に記載された撮影システムでは、予めリモコン装置が入場者に貸与され、撮影時には、入場者が撮影端末の前でリモコン装置を操作すると撮影指示信号が発信され、撮影端末のカメラ部が作動して撮影がなされる。また、特許文献 2 に記載されたサービスシステムでは、デジタルカメラの撮影場所に登録した電子タグを持つ入場者が来ると、デジタルカメラが電子タグを認識してその入場者を撮影する。

【0003】**【特許文献 1】**

特開平 11-215421 号公報

【特許文献 2】

特開 2002-41703 公報

【0004】**【発明が解決しようとする課題】**

しかしながら、従来の撮影システムでは、リモコン装置や電子タグが発信する信号を検出して被写体を認識しているため、これら発信装置を所持しない入場者を認識することができず、「撮影の邪魔になる」、「撮影できない」等の警告を与えることができない、とい

う問題があった。

【 0 0 0 5 】

本発明は、上記問題を解決すべく成されたものであり、本発明の目的は、撮影場所に存在する入場者を認識し、認識した入場者に電子タグの有無に応じて撮影に関する音声情報を提供できる撮影システムを提供することにある。

【 0 0 0 6 】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために請求項1に記載の撮影システムは、施設への入場者に配布され、タグ情報を送信する電子タグと、施設内の所定の撮影場所に存在する入場者を検知する人体検知センサと、前記電子タグから送信されるタグ情報を検知するタグセンサと、前記撮影場所に存在する入場者に撮影に関する音声情報を提供する情報提供手段と、前記撮影場所に存在する入場者を撮影して画像データを得る撮影手段と、前記人体検知センサが入場者を検知した場合に、該入場者が電子タグを所持しているか否かを判断し、前記電子タグの有無に応じて撮影に関する音声情報を提供するように前記情報提供手段を制御すると共に、前記入場者が電子タグを所持している場合に撮影を行うように前記撮影手段を制御する制御手段と、を備えたことを特徴としている。

【 0 0 0 7 】

この撮影システムでは、人体検知センサが入場者を検知した場合に、タグセンサが電子タグから送信されるタグ情報を検知したか否かで、この入場者が電子タグを所持しているか否かを判断するので、入場者が電子タグを所持しているか否かに拘らず、撮影場所に入場者が存在するか否かを的確に判断することができる。そして、電子タグの有無に応じて撮影に関する音声情報を提供するように情報提供手段を制御すると共に、この入場者が電子タグを所持している場合に撮影を行うように撮影手段を制御するので、入場者が電子タグを所持しているか否かに応じて異なる音声情報を提供することができ、電子タグを所持している入場者だけを撮影することができる。

【 0 0 0 8 】

上記の撮影システムにおいて、前記情報提供手段は、撮影場所に存在する入場者が電子タグを所持している場合には撮像する旨の音声情報を提供し、撮影場所に存在する入場者が電子タグを所持していない場合には撮像できない旨の音声情報を提供する。また、人体検知センサ、タグセンサ、及び情報提供手段を、撮影場所に配置されたキャラクタ像に設けることができる。

【 0 0 0 9 】

人体検知センサ、タグセンサ、及び情報提供手段の各々をキャラクタ像に設置することにより、入場者が一緒に写真を撮ろうとキャラクタ像に近付くと、人体検知センサが入場者を認識して、情報提供手段により音声が出力されるので、入場者はキャラクタ像が突然しゃべりだしたと錯覚する。これにより、入場者の意外な表情を撮影することができる。

【 0 0 1 0 】

また、キャラクタ像と入場者とが所定の画像枠内に収まるように、キャラクタ像及び入場者の少なくとも一方の撮影位置を調整する位置調整手段を更に備えていてもよい。この位置調整手段により、入場者が所持する電子タグのタグ情報に基づいて撮影位置を調整することができる。

【 0 0 1 1 】

これにより、電子タグに記録された身長などの身体的特徴に基づいて自動的に撮影位置が調節されるので、大人と子供というように入場者の身体的特徴に拘らず、撮影対象者を画像枠内に収めることができる。

【 0 0 1 2 】

【発明の実施の形態】

以下、図面を参照して、本発明の撮影システムを遊園地やテーマパーク等の娯楽施設に設置した実施の形態を詳細に説明する。

【 0 0 1 3 】

〔撮影システム全体の構成〕

本実施の形態に係る撮影システムは、図 1 に示すように、支持台 1 0 に固定されたカメラ 1 2、入場者 1 4 が一緒に写真撮影することができるようにカメラ 1 2 の撮影位置に配置されたブロンズ製のキャラクタ像 1 8、及びモータ 1 6 の駆動によって入場者 1 4 の高さを調節する昇降装置 2 0 を備えている。カメラ 1 2 及びモータ 1 6 は、各々を制御するコントローラ 3 2 に接続されている。

【 0 0 1 4 】

キャラクタ像 1 8 には、図 2 に示すように、赤外線により入場者 1 4 を検知する人体検知センサ 2 4、入場者 1 4 が所持する電子タグ 2 2 からのタグ信号を検出するタグセンサ 2 6、音声によるメッセージを出力するスピーカ等で構成された音声出力部 2 8、及び入力ボタン等を備えた操作部 3 0 が設けられている。これら人体検知センサ 2 4、タグセンサ 2 6、音声出力部 2 8、及び操作部 3 0 の各々は、各々を制御するコントローラ 3 2 に接続され、コントローラ 3 2 は、送受信装置 3 4 を介してテーマパーク内の所定の場所に設けられたセンターコンピュータ 3 6 に接続されている。

【 0 0 1 5 】

上記の撮影システムは、娯楽施設内の景色のよい場所や広場など、入場者が記念撮影を行うのに好適な場所に設置されている。

【 0 0 1 6 】

カメラ 1 2 は、デジタルカメラのような被写体の光学像を電気信号に変換し、デジタル化して画像データを得ることのできる電子カメラ装置が好ましく、カメラ 1 2 は、コントローラ 3 2 からの指示により撮影を行い、撮影データをコントローラ 3 2 に出力する。撮影データは、送受信装置 3 4 を介してテーマパーク内に設けられたセンターコンピュータ 3 6 に送信される。

【 0 0 1 7 】

電子タグ 2 2 は、I C チップ及びアンテナからなる無線送受信装置を備えた薄型形状のタグであり、クリップ等により衣服に装着可能に構成されている。I C チップに含まれるメモリには、この電子タグに割り当てられた番号（タグ番号）が記憶されており、タグ番号を I D (I d e n t i f i c a t i o n) として送信する。タグ番号は、入場者の入場日や該入場日での入場順序などの情報から構成されており、同伴者全ての電子タグには、入場日と入場順序とが同じタグ番号が付与される。また、メモリには、タグ番号の外に、入場者の氏名や年齢、身長等の身体的特徴、撮影された写真の受け取り方法などの付加情報が格納保持されている。

【 0 0 1 8 】

電子タグ 2 2 は、上記の撮影システムでの写真撮影を希望する入場者に貸与され、貸与時にタグ番号及び上記の付加情報がメモリに書き込まれる。外部からの所定の信号を受信すると、I C チップが動作してメモリのタグ番号や、必要に応じて、付加情報を送信するものであり、これを図 1 におけるタグセンサ 2 6 が受信することになる。

【 0 0 1 9 】

人体検知センサ 2 4 は、人間が発する赤外線を検出し、検出した赤外線量により所定の撮影場所に入場者が存在するか否かを判定して、判定結果をコントローラ 3 2 に出力する。人体検知センサ 2 4 の検知可能範囲は、キャラクタ像 1 8 近傍の所定範囲内とすることができる。

【 0 0 2 0 】

図 3 に、撮影場所での各部の配置関係を示す。撮影場所にはキャラクタ像 1 8 が設置されており、これに対向する位置にカメラ 1 2 が設置されている。キャラクタ像 1 8 に備えられた人体検知センサ 2 4 の検知可能範囲は、キャラクタ像 1 8 前方に所定角度で拡がる所定範囲内とされ、この範囲内に居る入場者 1 4 A、1 4 B は検知されるが、この範囲外に居る入場者 X、Y、Z は検知されない。なお、この検知可能範囲は、カメラ 1 2 により入場者をキャラクタ像 1 8 と一緒に撮影することができる範囲と略一致し、また、次に説明するタグセンサ 2 6 が電子タグ 2 2 を検知できる範囲とも略一致している。

【 0 0 2 1 】

タグセンサ 2 6 は、電子タグ 2 2 から送信される電磁波に変調された I D 番号等を受信して復調し、復調した信号をコントローラ 3 2 に出力する。電子タグ 2 2 の送受信範囲は近距離であり、電子タグ 2 2 がタグセンサ 2 6 から所定の範囲内に近付くと、タグセンサ 2 6 がこの電子タグ 2 2 を検知する。タグセンサ 2 6 と電子タグ 2 2 との通信方式としては、携帯電話での通信方式やブルートゥースなどの近距離無線通信方式を利用するのが好ましい。

【 0 0 2 2 】

音声出力部 2 8 は、例えば、撮影ガイドをアナウンスするために、増幅器により増幅された出力を音声として出力するスピーカで構成されている。

10

【 0 0 2 3 】

操作部 3 0 は、カメラ 1 2 のシャッタ制御や昇降装置 2 0 の動作制御を行なうための操作ボタンを含んで構成されており、操作ボタンにより入場者 1 4 からの指示情報をコントローラ 3 2 に出力する。操作ボタンは、例えば、キャラクタ像 1 8 の「手」や「鼻」のように、入場者 1 4 が触れることができる場所に設けることができる。

【 0 0 2 4 】

コントローラ 3 2 は、CPU、ROM、及びRAMなどを備えたマイクロコンピュータから構成され、これらはバスにより接続されている。CPUは、ROMに格納されているプログラムにより撮影システム全体の制御を行なうと共に、タグセンサ 2 6 から入力された情報に対応してモータ 1 6 を制御して昇降装置 2 0 を駆動させる。また、RAMは、カメラ 1 2 から入力された撮影データの一時記憶や、プログラム、データ及び処理結果の一時記憶および中間作業領域等に用いられる。また、ROMは上述のプログラム等を記録する記録媒体であり、PROM、FROM（フラッシュROM）等が用いられる。

20

【 0 0 2 5 】

コントローラ 3 2 は、また、タグセンサ 2 6 から受け取った情報に応じてカメラ 1 2 に撮影指示を与えると共に、撮影データをタグ番号等と共に送受信装置 3 4 を介してセンターコンピュータ 3 6 に送信する。送受信装置 3 4 は、コントローラ 3 2 とセンターコンピュータ 3 6 とのデータ送受信のための通信制御を行なう。

【 0 0 2 6 】

センターコンピュータ 3 6 では、受信した撮影データを、タグ情報に含まれるタグ番号（I D）に基づいて分類し、図示しない画像メモリにタグ番号と関連付けてデータを記憶する。

30

【 0 0 2 7 】

〔撮影システムの動作〕

次に、図 4 に示すフローチャートを参照して、図 1 に示す撮影システムにおいて撮影処理を実行するコントローラ 3 2 の処理ルーチンについて説明する。

【 0 0 2 8 】

ステップ 1 0 0 において、人体検知センサ 2 4 が、キャラクタ像 1 8 の近傍で入場者 1 4 が検知されたか否かを判断する。入場者 1 4 が写真撮影のためにキャラクタ像 1 8 に近付くと、人体検知センサ 2 4 が検知可能範囲に入場者 1 4 が存在するか否かを判定して、判定結果がコントローラ 3 2 に出力される。一方、入場者 1 4 が検知されるまでは、待機状態にある。

40

【 0 0 2 9 】

入場者 1 4 が検知されたと判断すると、次のステップ 1 0 1 で、その入場者 1 4 が電子タグ 2 2 を所持しているか否かを判断する。タグセンサ 2 6 が、これら入場者 1 4 の電子タグ 2 2 からタグ番号及び付加情報を受信することにより、その電子タグ 2 2 を検出し、その検出出力をコントローラ 3 2 に出力する。これにより、コントローラ 3 2 は、検知された入場者が電子タグ 2 2 を所持していると判断する。

【 0 0 3 0 】

入場者 1 4 が電子タグ 2 2 を所持していると判断すると、次のステップ 1 0 2 で、タグセ

50

ンサ 26 が受信した付加情報に含まれる入場者の身長情報に応じてモータ 16 を制御し、入場者 14 の撮影位置を調節する。入場者の身長が低い場合には、モータ 16 を駆動して、キャラクタ像 18 と一緒に写真撮影をするのに好適な高さまで昇降装置 20 を上昇させ、入場者 14 の撮影位置（高さ）を調節する。なお、この例では、入場者の撮影位置を調節するようにしたが、キャラクタ像 18 の撮影位置を調節するようにしてもよい。また、カメラ 12 の撮影画角を調節するようにしてもよい。

【 0031 】

次に、ステップ 103 において、音声出力装置を駆動させて「写真を撮ります。」といったアナウンスを行い、次のステップ 104 で、写真撮影する入場者 14 にポーズをとる時間を与えるために、「はい、チーズ。」「1、2、3。」等の音声を発してカウントダウンを開始する。そして、ステップ 108 で、カウントダウンの終了後に、カメラ 12 を動作させて撮影を行う。また、「ボタンを押して下さい。カウントダウンを開始します。」等のアナウンスを流し、入場者の合図を契機にカウントダウンを開始するようにしてもよい。これにより、入場者は撮影される準備を整えることができる。

10

【 0032 】

カウントダウン開始後、ステップ 105 で、電子タグ 22 がタグセンサ 26 で検知できる状態か否かを判断し、カウントダウンの間に写真撮影する入場者 14 が動いて電子タグ 22 が検知できない状態になった場合には「撮影を中止します」等のアナウンスをする。また、ステップ 106 で、人体検知センサ 24 で他の入場者 14 が検知されたか否かを判断し、カウントダウン中に他の入場者が入り込んできて、他の入場者 14 が検知された場合には、ステップ 107 で、「撮影中です。入らないで下さい。」等の注意を促すアナウンスが行なわれ、ステップ 104 に戻って、再びカウントダウンをやり直す。

20

【 0033 】

ステップ 108 での写真撮影が終わると、ステップ 109 で、昇降装置 20 を初期位置に戻し、ステップ 110 で、撮影のお礼と次の撮影を勧めるアナウンスがなされる。入場者の安全を確保するために、昇降装置 20 を駆動する前に、「台が下がります。」等の警告をアナウンスすることができる。また、入場者がボタンを押すことにより昇降装置 20 を駆動するようにしてもよい。そして、ステップ 111 で、撮影システムのスイッチがオフされて撮影処理が終了したか否かを判断し、撮影終了の場合はルーチンを終了し、撮影終了で無ければステップ 100 に戻ってルーチンを続行する。

30

【 0034 】

一方、ステップ 101 で、タグセンサ 26 が電子タグ 22 を検出しなかった場合には、ステップ 113 で、「撮影できません。」等のアナウンスをする。また、「電子タグを購入して下さい。」等、入場者に電子タグ 22 の購入を促すアナウンスをしてもよい。

【 0035 】

撮影された写真映像（画像データ）は、カメラ 12 からコントローラ 32 に入力され、タグ番号や日付（撮影日）などの必要な情報とともに、センターコンピュータ 36 に送信される。このように、電子タグ 22 を所持する入場者 14 は、カメラを持参しなくとも、記念写真を撮ることができる。

【 0036 】

また、入場者 14 は、撮影された写真を、端末へのダウンロード、持ち帰り、郵送など種々の方法で受け取ることができる。これら受け取り方法と、受け取り方法が端末へのダウンロードであるときの電子メールのアドレス、受け取り方法が持ち帰りである場合の写真受取人の氏名、受け取り方法が郵送である場合の写真受取人の住所と氏名などの情報は、電子タグ 22 に付加情報として格納保持されており、タグ番号と共にセンターコンピュータ 36 に送信される。

40

【 0037 】

例えば、受け取り方法が持ち帰りである場合には、センターコンピュータ 36 に接続されたプリンタで写真がプリント出力され、撮影者は退場時にセンターコンピュータ 36 の設置してある出口で電子タグ 22 の ID と一致するプリント（写真）を受取ると共に料金の

50

精算を行う。また、プリント出力に代えて記憶媒体（例えば F D ）に画像データを記憶して提供するようにしてもよい。

【 0 0 3 8 】

以上説明したように、本実施の形態に係る撮影システムでは、タグセンサで電子タグを検知する前に、人体検知センサにより撮影場所に存在する入場者を検知するので、入場者が電子タグを所持しているか否かに拘らず、撮影場所に入場者が存在するか否かを的確に判断することができる。また、電子タグを所持している入場者には「撮影します。」等の撮影を予告するアナウンスをし、電子タグを所持していない入場者には「撮影できません。」等の警告を与えるアナウンスをするなど、入場者が電子タグを所持しているか否かに応じて、異なる音声情報を提供することができる。

10

【 0 0 3 9 】

また、本実施の形態に係る撮影システムでは、人体検知センサ、タグセンサ、及び音声出力装置の各々はキャラクタ像に設置されており、入場者が一緒に写真を撮ろうとキャラクタ像に近付くと、人体検知センサが入場者を認識して、音声出力装置から音声が出力されるので、入場者はキャラクタ像が突然しゃべりだしたと錯覚する。これにより、入場者の意外な表情を撮影することができる。

【 0 0 4 0 】

また、本実施の形態に係る撮影システムでは、電子タグに記録された身長などの身体的特徴に基づいて自動的に撮影位置が調節されるので、大人と子供というように入場者の身体的特徴に拘らず、撮影対照者を画像枠内に収めることができる。

20

【 0 0 4 1 】

なお、上記では、入場者が記念撮影を行うのに好適な場所に撮影システムを設置する例について説明したが、テーマパーク内の意外な場所に設置することで、テーマパーク内に隠れて設置されたカメラを探し当てて記念撮影をする宝探しの要素を含んだスタンプラリーシステムを提供することもできる。また、人体検知センサ、タグセンサ、及び音声出力装置は、キャラクタ像以外の物体に設けてもよい。

【 0 0 4 2 】

例えば、図 5（A）に示すように、ジョーズのキャラクタ像の口の中にカメラを設置し、口の中を覗くとキャラクタ像が動き出す仕掛けとすることで、図 5（B）に示すように、入場者の驚いた表情を撮影することができる。また、図 6（A）に示すように、壺の中にカメラを設置し、壺の中を覗くといきなり撮影される仕掛けとすることで、図 6（B）に示すように、入場者の驚いた表情を撮影することができる。更に、図 7（A）に示すように、ぬいぐるみ人形にカメラを持たせ、人形の前に立つと突然撮影する仕掛けとすることで、図 7（B）に示すように、入場者の驚いた表情を撮影することができる。

30

【 0 0 4 3 】

【 発明の効果 】

本発明によれば、電子タグを所持しているか否かに拘らず、撮影場所に存在する入場者を認識し、認識した入場者に電子タグの有無に応じて撮影に関する音声情報を提供することができる、という効果がある。

【 図面の簡単な説明 】

40

【 図 1 】 本実施の形態に係る撮影システムの全体を表す構成図である。

【 図 2 】 本実施の形態に係る撮影システムの構成を示すブロック図である。

【 図 3 】 撮影場所での各部の配置関係を模式的に示す配置図である。

【 図 4 】 撮影処理を実行するコントローラの処理ルーチンを示すフローチャートである。

【 図 5 】 （A）は撮影システムの他の配置例を示す図であり、（B）は（A）のシステムで撮影される画像例である。

【 図 6 】 （A）は撮影システムの他の配置例を示す図であり、（B）は（A）のシステムで撮影される画像例である。

【 図 7 】 （A）は撮影システムの他の配置例を示す図であり、（B）は（A）のシステムで撮影される画像例である。

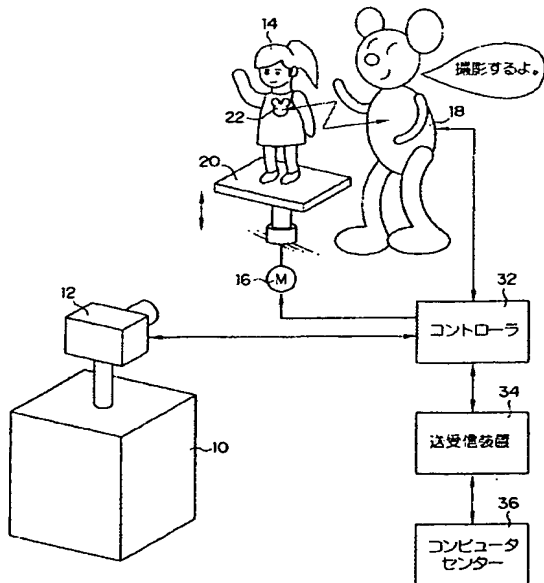
50

【 符号の説明 】

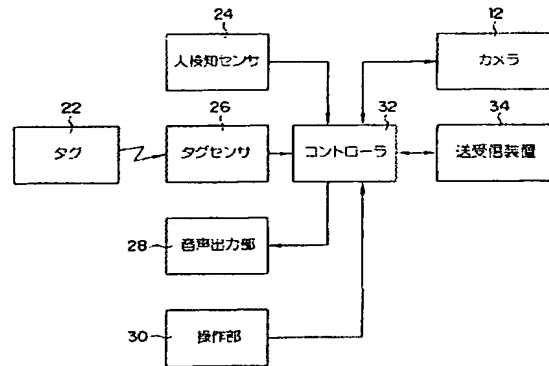
- 10 支持台
- 12 カメラ
- 14 入場者
- 16 モータ
- 18 キャラクタ像
- 20 昇降装置
- 22 電子タグ
- 24 人体検知センサ
- 26 タグセンサ
- 28 音声出力部
- 30 操作部
- 32 コントローラ
- 34 送受信装置
- 36 センターコンピュータ

10

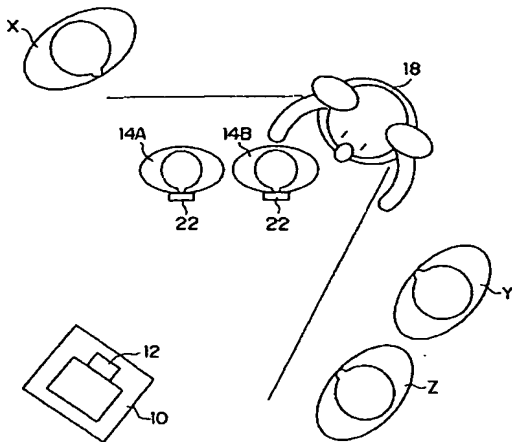
【 図 1 】



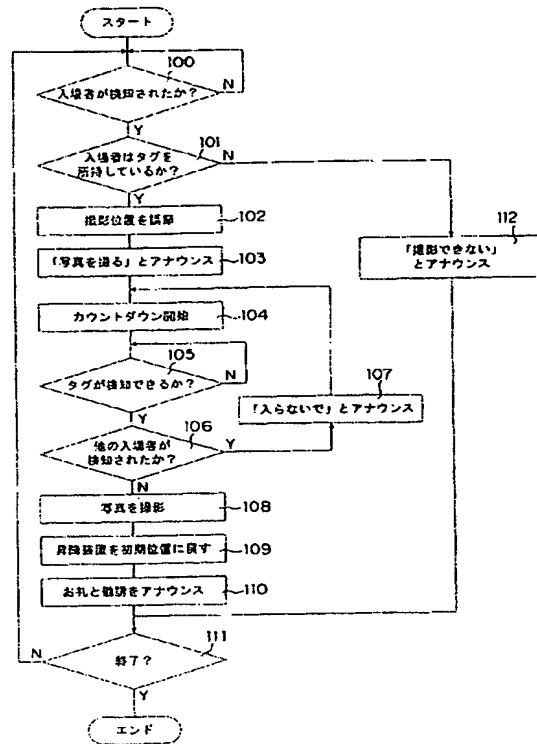
【 図 2 】



【 図 3 】

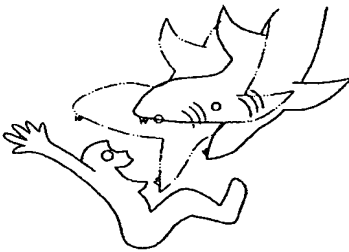


【 図 4 】



【 図 5 】

(A)



(B)



【 図 6 】

(A)



(B)

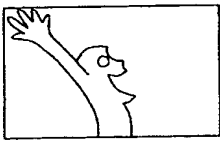


【 図 7 】

(A)



(B)



フロントページの続き

(72)発明者 磯村 歩

東京都港区西麻布 2 丁目 2 6 番 3 0 号 富士写真フイルム株式会社内

(72)発明者 岡部 雄生

東京都港区西麻布 2 丁目 2 6 番 3 0 号 富士写真フイルム株式会社内

F ターム(参考) 2H020 FB00

5C022 AA13 AC18 AC27 AC71 AC74